

# 病院で働く 医療のプロフェッショナル

病院では、治療を行う医師や看護師をはじめ、さまざまな職種のスタッフが働いています。その多くは専門性の高いスキルや知識が必要で、国が認める国家資格を有していなければ就けない職種がほとんどです。日進月歩の現代医療に携わる仕事であるために、常に専門知識を磨く努力をする必要があります。また、一人の患者さんに複数の医療スタッフが連携して、治療やケアを行う「チーム医療」にも取り組んでいます。

## 管理栄養士の仕事について

Interview

～管理栄養士・大島 千晶 (17年目)～



### 管理栄養士という職業を選んだきっかけは？

祖母の入院です。入院生活の中で、祖母が唯一楽しみにしていたことは食事でした。日に日に笑顔を取り戻し、回復していく祖母を見ていて、食事治療の一翼を担っていることを実感しました。管理栄養士になるための進学先を調べるうちに、運動生理学やスポーツ栄養も学べる大学があることを知り、管理栄養士の活躍の場は多岐にわたることも分かり、めざしてやることを決意し、現在に至りました。

### どんな仕事をしていますか？

入院中の患者さんに治療の一環として提供している食事の献立作成や食材管理をしています。食事が十分に取れない患者さんには食事中に病室訪問し、看護師や言語聴覚士と共に食事形態を検討することもあります。また、胃に直接チューブから栄養剤を入れる胃瘻栄養の患者さんの栄養剤の管理も行います。栄養状態の評価目的で、体成分分析装置(InBody)を用い、筋肉量・体脂肪量、体水分量などを測定することもあります。外科手術後の方や抗がん剤治療を受けられている方、栄養障害やそのリスクを抱えた方、糖尿病や高血圧など生活習慣病の方などに外来通院の方も含め栄養アドバイスをしたりもします。また、当院には医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師・リハビリ療法士・管理栄養士で構成した栄養サポートチームがあり、活動の運営も担っています。

### 雲南市立病院で働いてみての感想は？

食事提供に関して、調理スタッフも可能な限り協力してくれていますので、とても心強いです。入社してから栄養管理に関するいくつかの資格を取得させていただきましたが、実習や研修期間中、先輩や同僚が支えてくれる環境にあったこともあり、感謝しています。栄養サポートチーム以外に、緩和ケアや褥瘡、糖尿病チームにも携わっていますが、多職種で連携・協働することで日々良い刺激を受けることもできています。

### 将来どのような管理栄養士になりたいと思っていますか？

患者さん一人ひとり生活習慣や家庭環境は異なります。また、医療における目標設定も異なります。そのため、画一的ではなく患者さんに応じたサポートができるよう、日々進歩する医療の中で知識と技術を学んでいきたいと思っています。そして「出前講座」や「院内健康教室」などで、学んだことを活かせるような活動も行っていきたいです。

### 管理栄養士の仕事のやりがいを教えてください。

入院患者さんから「美味しい」という言葉をいただいたときには本当に嬉しいです。十分に食事を取ることができなかった患者さんが、食事形態等を調整することで食事が改善し、リハビリも進んでいく過程をみることも、とてもやりがいを感じますし私自身の活力にもなります。また、チーム医療の中で提案したことがチームに活かされたときも、とてもやりがいを感じます。

### 管理栄養士をめざす学生に向けてひとことメッセージを

管理栄養士の職場は病院や施設だけでなく、学校給食における栄養教諭として食育にも携わります。また、アスリートの食事管理や食品メーカーで健康食品等の開発など、幅広く健康をサポートする職です。



▲栄養指導



▲体内の筋肉量、体脂肪量や体水分量の測定

# 雲南病院だより

## 夏季高校生医療現場体験セミナー



7月30日(火)、夏季高校生医療現場体験セミナーを開催し、夏休みを利用して市内外の高校から医師・看護師・理学療法士希望の22人の生徒が参加しました。

午前には、病院の歴史・紹介や医療職の資格取得方法などを説明し、午後からは希望職種に分かれ体験を行い、最後に振り返りや一日のまとめを行いました。

参加者は、「今回貴重な体験ができて良かったし、看護師になりたい意識を高めることができました」、「コミュニケーションの大切さを知ったので、日頃から接し方を意識していきます」、「今回学んだように周りに気を配れるようになりたい」と思いました。など感想を述べていました。

はじめは皆さん緊張もあり戸惑ったりすることもありましたが、午後からの体験ではだいぶ慣れてきて患者さんと会話をしたり、楽しく医療体験をしていました。

今回参加した生徒にとって将来の進路を決定する上で参考になり、有意義な医療体験セミナーが開催できたと思います。当院は医療従事者を育てるという役割を今後も積極的に行っていきます。



採血体験



理学療法士によるリハビリ見学



手洗体験

## 雲南圏域新人看護師 合同研修会



7月24日(水)、第5回雲南圏域新人看護師合同研修会(奥出雲病院、飯南病院、平成記念病院、雲南市立病院)を当院で開催しました。この研修も回を重ねることで、新人看護師同士の絆が深まってきたように感じます。

今月は「呼吸音・心音・腹部聴診」について学習しました。聴診器を使って、シミュレーターから聴こえる音を集中させて聴き取ります。聴こえてきた音が正常であるか、異常であるか、異常であるならば、どんな異常があるのかを聴き分けました。実際、患者さんの聴診をさせていただくときは、患者さ



聴診器を使用し、シミュレーターから聴こえる音を正常か異常か聴き取る様子

今後日々成長できるように研修に取り組みしていきますので、引き続き新人看護師たちに温かいエールをお願いします。

んの訴えや症状、体温や血圧なども考慮しています。こんなときはこの音が聴こえるだろうと予測して聴診することが大切です。研修を終えた新人看護師は「正常な音を知ることができた。異常があれば、どのような看護が必要かを考え、実践していきたい」と話していました。

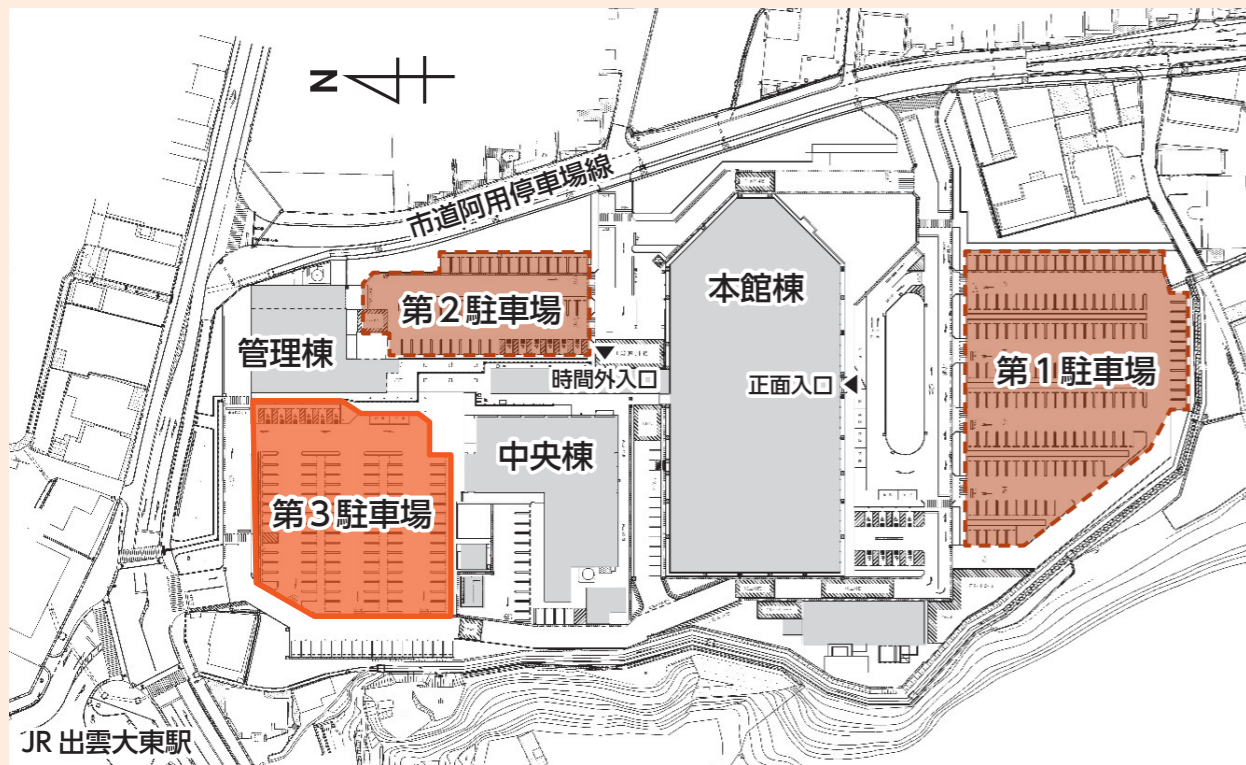
## 病院建設工事について

平成27年9月から4カ年にわたる病院建設工事は、9月に完了し10月1日グランドオープン予定となっています。

病院建設工事期間中は、駐車場の利用についても大変ご迷惑をお掛けしました。

10月1日（火）（予定）から新たに第3駐車場（JR出雲大東駅側に約100台分）を利用いただけるようになります。

これにより病院敷地内に合計300台を超える（障がい者・思いやり駐車場20台含む）駐車が可能となります。



## 病院紹介

栄養管理科

## 地域医療 日本一をめざし 頑張ります！

栄養管理科ではおよそ30種類の献立を用意、1日600~650食を提供しています。食事を噛んだり、飲み込んだりすることが難しい患者さんにも、安全に食べていただけるよう配慮した食事を慎重に調理しています。

「入院」は多くの人にとって、思いがけない出来事です。検査・手術・薬・リハビリ・・・大変な入院生活の中で、患者さんにとって「食事は楽しみであってほしい」と願いながら、職員一同、心を込めて日々の食事を作っています。そして、楽しみであると同時に治療食に限らずとも、食事は治療の効果を上げるための大切な土台であると、私たちは考えています。土台がしっかりしていれば、治療も順調に進みます。場合によっては「食べること」そのものが治療となることもあります。

入院生活の間も、できるだけ日常と変わらない食事を食べていただけるよう考えながら、季節毎の食事や、食べ慣れた料理を提供することを心掛けています。また、栄養サポートチーム・糖尿病サポートチーム・褥瘡対策委員会・緩和ケア療法委員会など、院内の医療チームに参加し、食事・栄養面から治療を支えます。

限られた条件の中ではありますが、患者さん一人ひとりの状態に合わせた食事を提供できるよう、スタッフ一同努力しています。受診や入院をきっかけに、「食べること」と「健康」とは密接につながっていることを、少しでも感じていただけるよう食事を通してメッセージを伝えたいと考えています。

### 8月の行事食

月に1回の行事食では、入院中の患者さんに季節を感じ、楽しんでいただいています。



8月6日 大東七夕祭り 献立

### お祝い膳

出産の退院前日に、お祝い膳を用意しています。メインメニューは肉か魚を選択できます。



## 診療費自動支払機導入

8月1日（木）より、診療費自動支払機を導入しました。外来診療費・入院診療費の支払いに自動支払機が利用いただけます。現金のほか、各種クレジットカードが利用いただけます。従来同様、窓口での支払いも可能です。診療費自動支払機の利用方法については、職員が案内しますので気軽にお尋ねください。

### 【診療費自動支払機利用時間】

平日 9時から16時まで

### 【設置場所】

1階総合待合（2台設置）



▲診療費自動支払機

### 配膳前の食事チェック



病棟へ配膳する前に、盛り付けの間違いや異物混入が無いかチェックをしています。

### 食物アレルギーの方の食事チェック



食物アレルギーの患者さんの食事は、禁止されている食品が混入していないか、必ず2人で最終チェックをしています。